

緊急シンポジウム 新規制基準と泊原発再稼働を問う －住民の安全と生活を守るために－

◇福島第一原発事故から2年半経ちました。昨年9月に原子力規制委員会が発足し、今年の7月8日には新規制基準が施行されて、泊原発を含む6原発12基が再稼働申請をしました。しかし、福島第一原発事故の原因究明がないままでの「新基準」では「世界最高水準の規制」（規制委員会委員長）といううたい文句とは裏腹に、大事故を防ぐ事は出来るはずがありません。

地域防災計画が本当に役立つのか検証もされておらず、「事故が起きたら勝手に逃げろ」と言わんばかりの無責任な事態になりかねません。

◇このような状況下で、改めて現在の原子力発電再稼働を巡る問題点を3点から解明し、今後の運動に資することを目的にしたシンポジウムを以下の要領で開催します。多くの皆様の参加を呼びかけます。

☆ 日 時 : 2013年9月21日（土）15時～17時

☆ 場 所 : 北海道クリスチャンセンター（札幌市北区北7条西6丁目 011-736-3388）

☆ 演 題 ○「新規制基準で原発の事故は防げるか」

石崎 健二（日本科学者会議会員 原発問題全道連絡会事務局次長 気象学）

○「原子炉一次冷却系材料の照射脆化」

姫宮 利融（日本科学者会議会員 金属工学）

○「地域経済と原発再稼働問題～泊原発を含めて考える」

小田 清（日本科学者会議会員 北海学園大学経済学部教授 地域開発政策論）

☆ 参加費（資料代）500円

主 催 : 日本科学者会議北海道支部 （TEL. 011-707-2299）

mail : jsa-hokkaido@mc6.sings.jp : <http://www.jsa.gr.jp/hokkaido/>

後 援 : 原発問題全道連絡会